

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 金曜日・2校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 322・中部講堂	
対象学生(クラス等) M14 T20B	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 勝田順一 / Eメールアドレス: katsuta@st.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 工学部 / オフィスパワー: 講義後1時間 中村武弘 / Eメールアドレス: tak-nak@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 環境科学部 315 / オフィスパワー: 水曜1校時 戸田 清 / Eメールアドレス: toda@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 環境科学部 / オフィスパワー: 月曜5校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) / 授業到達目標 授業のねらい: ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 : 特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」「平和」「海洋と文化」の分野についてそれぞれ3回ずつ講義する。 授業到達目標: 特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 長崎: 昭和57年長崎大水害、平成3年雲仙普賢岳噴火災害、平成3年台風19号災害、平成14年大型客船火災事故など、「長崎」で発生した大災害、大規模事故による被害を大きくしないためにはどのようにすればよいのでしょうか。物理的な対策だけで被害を防ぐことはできません。物理的対策は必要ではありますが、これだけでは片翼で飛行するようなものです。もう一方の片翼は人です。人ゆえに生じる問題を考えておくことが必要なのです。 第1回: 他人に、自分の意思や気持ちは伝わるか? 第2回: 集中してがんばれば、ちゃんとできるか? 第3回: ヒューマン・ファクタ問題を防ぐには? 平和: 第1回: 核時代を考える 第2回: 戦争と資源・環境問題 第3回: 直接的暴力・構造的暴力・文化的暴力 海洋と文化: 第1回: 海洋の流動について 第2回: 海洋の環境汚染について 第3回: 海洋のエネルギーについて 第1回 4月13日 特別講演 齋藤 寛 (学 長) 第2回 4月20日 平 和 戸田 清 (環境科学部) 第3回 4月27日 平 和 戸田 清 (環境科学部) 第4回 5月11日 平 和 戸田 清 (環境科学部) 第5回 5月18日 特別講演 佐藤俊英 (名誉教授) 第6回 5月25日 特別講演 石原 忠 (名誉教授) 第7回 6月 1日 長 崎 勝田順一 (工学部) 第8回 6月 8日 長 崎 勝田順一 (工学部) 第9回 6月15日 長 崎 勝田順一 (工学部) 第10回 6月22日 特別講演 井上義彦 (名誉教授) 第11回 6月29日 特別講演 石黒正恒 (名誉教授) 第12回 7月 6日 海洋と文化 中村武弘 (環境科学部) 第13回 7月13日 海洋と文化 中村武弘 (環境科学部) 第14回 7月20日 海洋と文化 中村武弘 (環境科学部) 第15回 8月 3日 特別講演 福永博俊 (教育担当理事)			
キーワード	ヒューマン・エラー, 事故と被害,		

教科書・教材・参考書	長崎:当日資料を配布し,プロジェクトで講義を行う。教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。 平和:教科書は指定しない。映像を用い、プリントを配布する。参考書は適宜紹介する。 海洋と文化:教科書は使用しない。当日資料を配布し,プロジェクトで講義を行う。
成績評価の方法・基準等	長崎30点、平和30点、海洋と文化30点、特別講演10点の配点とする。 長崎:当日のレポートによる評価。 平和:出席状況とレポートによる総合評価。 海洋と文化:出席状況とレポートによる総合評価。
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	